

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	1271400226
法人名	有限会社 すこやかさん
事業所名	グループホーム すこやかさん
所在地	千葉県香取市与倉869-1 (電話) 0478-58-0505

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成20年12月10日	評価確定日	平成20年12月26日

【情報提供票より】(平成20年11月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	13 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 14.5 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有() 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円) 無	有りの場合 償却の有無	有() 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	600 円
	夕食	500 円	おやつ	50 円
	または1日当たり		1,500円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	17 名	男性	1 名	女性	16 名	
要介護1	3 名	要介護2	5 名			
要介護3	4 名	要介護4	3 名			
要介護5	1 名	要支援2	1 名			
年齢	平均	86.65 歳	最低	84 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	越川医院、県立佐原病院、大栄病院、透光苑
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

大通りに面し、交通に便利な環境に「グループホームすこやかさん」がある。施設は、全面バリアフリーとなっており、天井が高く、明るく開放的な造りとなっている。広い敷地で駐車可能台数も多く、家族や馴染みの友人等が来やすい環境作りがなされていると共に、入居者の散歩コースの一部となっている。併設施設として、デイサービスと小規模デイサービスがあり、合同行事やレクリエーションを通じて交流が図られている。地域の保育園児・小中学生・高校生の慰問があり、世代間交流も図られている。職員の看護師及び併設のデイサービスの看護師が共同で、適切な健康管理を行っており安心した生活が確保されている。職員は家庭的な雰囲気作りを目指し、暖かい介護を提供しながら、入居者と共に支えあう関係を築いている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価にて、地域密着型サービスとしての理念の追加・終末期に向けた施設の方針の明文化が改善点として挙げた。評価後に職員間にて話し合いを行ない、適切な改善が図られている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価においては、管理者が職員と相談しながら作成しており、職員全員が外部評価の意義を理解している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、市職員・地域区長・民生委員・入居者・家族・職員を構成員として、4ヶ月に1回開催している。会議では、施設の活動報告や意見・情報交換が行なわれ、地域への施設理解の促進とサービスの向上を図っている。会議に参加しやすいよう、行事と一緒に開催する等工夫をしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会時に直接意見や要望等を確認している。挙げた意見においては、職員会議で意見を出し合い、早期改善に努めている。また、年に1回家族会を開催しており、意見交換を行っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会に加入しており、お祭り等の地域行事に積極的に参加している。入居者の馴染みの友人やボランティアの方々の訪問が多くあり、様々な交流が行われている。また、小中学生の職業体験や高校生のボランティアも受け入れており、世代間交流が図られている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的にやすらぎのある環境作りに努め、一人ひとりの個性・意思を尊重し、安心して楽しく生活できるよう支援することを主眼とした独自の理念を作り上げている。前回評価の反省を活かし、新たに地域密着型サービスとしての役割を理念に追加している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員に対しては、玄関や台所に理念を掲示し、申し送りの時等に理念を確認している。理念を追加した際には、家族に報告を行なっていると共に、運営推進会議にて理念を説明し、外部への周知も行なっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、お祭り等の地域行事に積極的に参加している。入居者の馴染みの友人やボランティアの方々の訪問が多くあり、様々な交流が行われている。また、小中学生の職業体験や高校生のボランティアも受け入れており、世代間交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の改善点については、職員会議にて話し合いを行い適切な改善を行なっている。自己評価においては、管理者が職員と相談しながら作成しており、職員全員が外部評価の意義を理解している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、市職員・地域区長・民生委員・入居者・家族・職員を構成員として、4ヶ月に1回開催している。会議では、施設の活動報告や意見・情報交換が行なわれ、地域への施設理解の促進とサービスの向上を図っている。会議に参加しやすいよう、行事と一緒に開催する等工夫をしている。		

【千葉県】グループホーム すこやかさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市職員とは、施設運営全般に関する質問や相談を随時行い、密に連絡をする関係が築かれている。市主催の研修会や介護支援専門員・施設長の会議に出席する等、定期的に情報交換をする機会を設けている。また、グループホーム連絡会と市が主催となった行事「メモリーウォーク千葉」に参加し、交流を図っている。その他、中学校教師の研修受け入れ等も行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に入居者の生活状況等の報告を行っている。また、施設発行の季刊誌「すこやかさんだより」を手紙と共に送付して、施設での生活の様子を伝えている。入居者の生活状況に変化があった場合は、随時電話連絡を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に直接意見や要望等を確認している。挙げた意見においては、職員会議で意見を出し合い、早期改善に努めている。また、年に1回家族会を開催しており、意見交換を行っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動に関しては、家族に報告を行なうと共に、入居者に対しては、その人に合った説明を行い、報告をしている。入職があった際には、慣れた職員と一緒に業務を行い、入居者とコミュニケーションを取れるよう配慮し、出来るだけ早く馴染みの関係を築けるよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修においては、できるだけ多くの職員が参加できるように努めている。研修参加後は、報告会にて内容を共有している。管理者は、毎年実施される介護福祉士の国家試験の受験を勧め、介護技術の向上に向け、意欲的に取り組んでいる。また、看護師職員による医療面や健康管理の指導・アドバイスが適切に行なわれ、職員の医療面の質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会に積極的に参加している。連絡会では、勉強会や情報交換が行なわれ、他施設との交流の場となっている。地域のグループホームの行事への参加や見学会を通じ、職員・入居者同士の交流が図られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>随時見学を実施していると共に、希望者には体験入居も実施しており、施設の雰囲気に慣れてもらうよう対応している。入居後は、本人のペースに合わせた支援をしながら、出来るだけ早く施設に馴染んでもらうよう努めている。併設のデイサービスに、地域の馴染みの方々が利用しており、交流を通して生活不安の軽減を図っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。職員は入居者を人生の先輩として敬い、生活の知恵や人生経験等を学ぶと共に、労いの言葉に癒しを得ながら支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に、本人や家族から意向や生活歴等を確認し、記録している。入居後は日々の生活の記録を通じて、本人の意向の把握に努め、本人本位の生活を送れるよう心がけている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画においては、本人・家族の意向や要望を踏まえた上で、職員会議にて意見や情報を話し合い、計画作成担当者が作成している。作成後は、家族に説明し了承を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の達成状況ついて3ヶ月に1回評価を行うと共に、6ヶ月に1回介護計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化があった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。見直しにおいては、本人・家族の意向や要望を踏まえた上で、職員会議にて意見や情報を話し合い、計画作成担当者が作成している。作成後は、家族に説明し了承を得ている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスと連携し、合同レクリエーションの実施や機械浴槽の利用等、入居者の希望や状況に合わせた支援を行なっている。また、地域交流が盛んに行なわれ、ボランティアの慰問や地域の保育園との交流等、入居者に楽しみを提供している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にもかかりつけ医への受診が可能であると共に、希望により、通院支援も行っている。また、必要に応じて往診が実施可能となっている。職員の看護師や併設デイサービスの看護師により、日頃の健康管理や医療面での相談が行われ、入居者の適切な健康管理がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	前回の評価の反省を活かし、施設の方針や対応方法を明文化すると共に、家族に説明を行い、了承を得ている。重度化した場合は、同意書を基に医師・家族・職員等で話し合いを行った上で、施設として出来る限りの対応ができるよう体制作りがなされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については所定の場所に保管し、個人情報の保護を図っている。入室する際や排泄介助時の対応等、指導・話し合いをし、入居者のプライバシーを損なわないよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別に計画を決めているが、本人の希望を最優先にし、自由な生活を支援している。希望が言い出せない入居者に対しては、希望を言いやすい雰囲気作りをすると共に、声掛けの工夫や観察により、希望を把握し、その人らしい生活を支援できるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備や片付け等を共同で行っている。献立と食材の買出しは、入居者の嗜好や要望も考慮して併設デイサービスの栄養士が行なっている。外食会や誕生日会も実施しており、食の楽しみを支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は本人の希望や状況に応じて、時間や回数等柔軟に対応している。エアコンや赤外線ヒーターが設置され、快適な入浴を支援していると共に、必要に応じて清拭や足浴を実施し、入居者の清潔保持に努めている。また、併設のデイサービスの機械浴槽が利用可能となっており、利用者の身体機能に合わせた入浴支援が行われている。入浴拒否に対しては、声掛けやタイミングを工夫し、無理のない入浴支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の趣味・嗜好に応じて、俳句や塗り絵、習字等が行なわれていると共に、併設のデイサービスとの合同レクリエーションや行事が定期的に行なわれ入居者の楽しみを支援している。また、入居者や併設デイサービスの利用者は同じ地域の方々が多く、共通の話題や昔話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごしている。また、地域の保育園・小中学生・高校生との交流や地域行事への参加等の外部との交流も入居者の気晴らしとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩や個別の外出等を実施していると共に、定期的に行事を企画・実施し、戸外での楽しみを広げている。今年は、地域行事である「メモリーウォーク千葉」への参加や交流のある高校の文化祭に参加しており、様々な形で入居者に楽しみを支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠は行っておらず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合は、声掛けや見守りで柔軟に対応している。居室には鍵は設置されていないが、入居者の尊厳に配慮したサービスの提供に努めている。		

【千葉県】グループホーム すこやかさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時・緊急時の対応マニュアルの整備がなされていると共に、消防署の協力のもと、年2回の消防避難訓練を実施している。また、救急救命講習に参加し、緊急時に備えた体制作りがなされている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の嗜好や能力に合せた適切な食事提供がなされていると共に、食事の摂取量を記録している。また、必要に応じて水分の摂取量も記録している。摂取量が少ない場合は、嗜好品や栄養補助食品等で補い、必要な栄養の摂取に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには、ソファー・テーブル・マッサージチェア等が置かれ、入居者がくつろげるよう工夫されていると共に、季節に合わせた飾りつけを入居者と職員が共同で行い、季節を感じながら生活が送れるよう配慮している。トイレは広く設計され、十分な介助スペースが確保されている。また、アコーディオンカーテンを活用し、入居者のプライバシーに配慮しながら、安全を確認できるよう工夫されている。食器洗浄乾燥機の使用や定期的な徹底清掃の実施にて衛生管理に努めている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により、馴染みの物を自由に持込む事が可能となっており、入居者が安心して居心地良く生活出来るように配慮されている。全居室にエアコンと換気扇が設置され、適切な空調管理がなされていると共に、ナースコールが設置され、入居者の安全面にも配慮されている。		